

# 2022年12月報告書

呉 悠

## もくじ

1. はじめに
2. 授業
3. 良かったこと
4. 辛かったこと
5. それでも「頑張る」理由

### 1. はじめに

最近ご飯とお味噌汁とポッキーに支えられているBoston Universityの呉です。

山あり谷ありな2年生の秋学期の様子をお届けします。

### 2. 授業

今学期は調子に乗って通常の1.5倍くらい授業をとってしまいました。朝8時から遅い時は夜8時半まで授業があります。高校までと違って全て自分が興味を持って受けているので、1日6コマでも帰ってくる時にはもうへとへとです。

テストと課題が一気に押し寄せてくる時期は本当に辛かったですが、どの授業も自分の人生を豊かにしている感じがしてとても充実した秋学期でした。達成感がすごい。まだ終わってないけど。

- **Combinatoric Structures**

コンピュータサイエンスに関する基本的な原理を学ぶ授業です。理論がメインなのでコーディングは基本しないのですが、考え方を分かりやすく教えてくれます。教授は説明が分かりやすいだけでなく、学生が内容を理解することを第一に考えていて、どんな質問をしてももやもやがすっきりするまであれこれ工夫して答えてくださいます。人としても心の底から尊敬しています。

コンピュータサイエンス専攻の最初の方の必修授業なのでクラスサイズは大きいのですが、その分サポートが超手厚く、土日も含めて毎日オフィスアワー(教授や先輩に質問しに行ける場所)をやっています。しかもこの授業だけでもTAとCA(オフィスアワーで教えてくれる先輩)が20人近くいるので、自分に合った教え方をしてくれる先輩を選べるというのもポイント！リソース無限大学ならではの長所なのではないでしょうか。皆でわいわいオフィスアワーで教え合いながら課題を進めるのが毎週のルーティンです。

- **Geometric Algorithms**

線形代数の授業です。コンピュータサイエンス専攻向けなので、ごりごりの数学をやるというよりは習ったことをプログラミングを使って応用したりします。ちゃんと数学をやりたい人からすると物足りないかもしれませんが、課題をやっている中でこの話ってこういうところで繋がってたんだ！という発見があって楽しいです。全ての授業に選べる少人数の実習の授業がついているのですが、朝の授業に行くと3人くらいしかいなくて質問しやすく理解が深まるのでおすすめです。

- **Social Psychology**

個人と社会がどう影響し合うのかを学ぶ社会心理学の授業です。毎回教授が皆のアイドルである犬を連れて来て、(たまにブラックな)ユーモアを交えながら、基本的な理論と最近の研究を混ぜて教えてくださいます。学生も大真面目に聞いていて、毎度沢山の(これもたまにブラックな)意見が飛び交います。

ちょうど自己と他人との関わり方について色々と考えていたので、この授業で人生が変わったといっても過言ではない気がします。今までぼんやりと感じていたことが社会心理学の考え方がヒントになって言語化されたり、困ったときに学んだことに助けられて、より「よい」判断ができるようになったと感じます。あと多分人に優しくなりました。本当にこの授業を取って良かったです。

- **Introduction to MATLAB Programming for Research in Psychological & Brain Sciences**

心理学や神経科学の研究でデータ解析をするときに使うMATLABというプログラミング言語の授業です。個人的には新しい言語を学ぶ時最初で挫折しやすいので、授業を通して超優しい教授に手取り足取り教えてもらえたのは良かったです。ただ考え方を詳しく学ぶというよりは研究で使えるようにすることがメインなので、コンピュータサイエンス専攻の授

業での教え方の方が個人的には合っていました。ものすごく評判がいい授業らしいので好みの問題だと思います。

- **Writing Seminar: The Atomic Bomb and the Atomic Age**

広島と長崎の原爆や核兵器などに関連する歴史を学ぶライティングの授業です。今まで原爆というか歴史自体にそこまで興味がなかったのですが、原爆をアメリカの視点から学ぶというのが新鮮でかなり興味深く、自分から色々調べるようになりました。学生も様々な国から来ているので、冷戦の話の時にソ連にいたクラスメイトの家族の経験を聞いたり、私も日本語でしか得られないリソースを元に情報提供したり、世界の歴史を身近に感じられるようになったと思います。リーディングやライティングの課題は大変でしたが、この授業を取って世界の見方が変わりました。

- **All Campus Orchestra**

去年に引き続きオーケストラの授業です。今学期は人数が多くなって更に楽しくなってきました。他の授業と課題で忙しくなかなか楽器の練習に時間を割けず、衰えを感じています。でも大学に入ってから音楽を純粋に楽しめるようになってきました。最近の推しは安定のドヴォルザークです。勉強のモチベーションが下がった時によく聴いています。音楽はこれからも細々と続けていけたらいいなあ。

- **Global House: Exploring Cultures & Languages I**

グローバルハウスという一緒に住みながら外国語を学ぶコミュニティに入り、この授業では文化や言語についてディスカッションをします。このコミュニティの人が皆本当に素敵で、普通に大学生活をしていると自分のことでいっぱいになりがちなか、彼らは自分と異なる人にも興味を持ち、人から学ぼうとする姿勢を持っているように感じます。また、皆同じ寮に住んでいるので、言語を教え合ったり、知らない言語や文化に触れたりする機会が豊富にあります。

授業のディスカッションは、個人主義と言われているアメリカと集団主義の日本を比べてみて感じたことを話したり、アメリカに来て抱いた疑問を投げかけてみたり、文化の違いや社会心理学で学んだことを言語化する良い機会になっています。

### 3. 良かったこと

- 大学の使い方が分かってきた

1年目は大学があまりにも大きすぎて途方に暮れていた感があるのですが、2年生になってやっと豊富なリソースを少しずつ活用できるようになってきました。毎日新しい刺激があって飽きることがありません。

ボスキャリ(大規模な海外大生の就活イベント)も近所でやっていたので覗きに行ってみたり、大学でやっているハッカソンイベントに行ってみたり、色々なものが凝縮されている街ボストンならではの豊富な機会を使えるようになってきたと感じます。

- 自分に合った人間関係が分かってきた

夏休みに色々な世界の人と出会って以降、自分にとって心地良いコミュニティや他人との関わり方をだんだん掴めるようになってきました。海外大生というと勉強も遊びも課外活動も全力で頑張る友達をたくさん作らないといけないみたいなイメージがあったのですが、別に海外大生とかいうブランドを守るために生きているわけではないですし、エネルギーを消費しやすい私がそんなことをしたら身体を壊します。一人で集中して勉強して、のんびりしたい時は休んで、時々友達や新しい人と会ってゆっくり語り合ったり、戦友たちとゆるく作業通話したり、困った時は助け合ったりして過ごしています。人から日々たくさんのことを学んでいます。

いつもありがとう。

これを読んでくださっている方も何かあれば気軽に連絡してください。

[2eyecontact@gmail.com](mailto:2eyecontact@gmail.com)

- 自ら選択して時間を使えるようになった

最近「自分の人生を生きている」感じがします。無理して他人に合わせず自分がしたいことに常に正直でいるアメリカの友人の考え方がとても素敵だなと思い、自分にも取り入れてみることにしました。

自分で学ぶ方が早いからと授業に来ない人も多いけど、私は直接学んで理解したいし一人だとやる気が出ないから授業に行く。でも別に学びのスタイルや人生の目的が違うだけなので、授業に来ない人も尊重するし、自分も疲れて休みが必要な時はしっかり休む。課題を教えてと言われても、自分の理解も深まるから教えたい時は教えるし、忙しくて教えたくない時は正直に嫌だと言う。あと人のことを道具としか思っていない人には教えない。

こうやって無理に他人に良く思われようとせずに自分に正直でいると、自然とちょうどよい距離感で尊重し合える素敵な人たちに会えるようになってきます。

人から何と言われようと自分軸が第一優先で、お互いの人生をより良くしていくための人間関係、ということこの考え方がとても好きです。

日々自ら考えて選んで行動選択しているので、毎日が本当に濃いです。

## 4. 辛かったこと

- アップダウンが激しすぎた

良いことと同じくらい良くないこともついてくるのが人生です。日々多くのことが学べる分犠牲になることも多いです。テストと課題が数週間にわたって押し寄せて来た時期はストレスで吐き気が止まらなかったり、自律神経がぶっ壊れて1日5回泣いたり、夜中に無心で甘いものを食べないと気が済まなかったりしていました。人間としての生活をやめたくなるくらい辛い時期もあります。

でも辛すぎる分、心や体を完全に壊す前に自分で気づいて休んだり人に助けを求めたりできるようになって来たのかなとも思います。今までは辛いということすら自分で認識できなかったのです。家族や友人たちの優しさには本当に助けられました。いつもありがとう。今苦しんでいる方、共に生きましょう。

## 5. それでも「頑張る」理由

最近他人に「すごい頑張ってるね」と言われることが増えた気がします。多分「頑張ってる度」で言うともしろ高校までの方が頑張っていたのですが、最近は「頑張り方」が変わって来たような気がします。

これまで成果を生んで人から認めてもらうために頑張っていたのが、自分の人生をより良くするために頑張るようになったのではないかと思います。なので、勉強だけをめちゃめちゃ頑張っているというよりは、睡眠や人との出会いも含めて自分にとって心地良い人生を生きることに全力を注いでいる感じです。上手くいくことばかりではないですが、日々新しいことを吸収して自分にも取り入れて実験するのが楽しいです。人を幸せにするにはまず自分が心の余裕を持つことが大切だと思っているので。

私が様々な挑戦ができるように支えて下さっている財団の皆様、家族、出会ってくれた友人たち、これから出会う人たち、いつも本当にありがとうございます。